

川崎港のあゆみ

西 暦	年 号	記 事
1618	元和4年	川崎領下新田開発（田島新田）
1624	寛永元年	池上幸広、多摩川下流海浜に新田開発を企画
1625	寛永2年	池上幸広・幸繁・石渡四郎兵衛等が大師河原開墾（稲荷新田）
1728	享保13年	池上幸定、祖父幸広・幸忠の筆記に自己の見解を加え「新田開発条々」を誌す
1746	延京3年	池上幸豊、開発面積100町歩余りの新田開発計画書を代官所に提出
1751	寛延4年	大島、塩浜、稲荷新田、川中島、大師河原村の5カ村、上記の計画を了承
1752	宝暦2年11月	池上幸豊の新田（観音、塩浜）開発許可
1759	宝暦9年6月	池上幸豊の池上新田開発竣功
1779	安永8年	大島新田開発
1857	安政4年	田辺五右衛門、田辺新田開発
1859	安政6年10月	横浜港開港
1864	文久4年	小島六左衛門、小島新田開発
1889	明治22年4月	全国に市町村制が施行、川崎町（新宿、砂子、小土呂、久根崎、堀ノ内）誕生
1892	明治25年6月	臨時横浜築港局設置
1894	明治27年	川島富右衛門及び勘左衛門、夜光新田開発
1899	明治32年1月	大師電気鉄道（株）（京浜急行）、六郷、大師間開業
1902	明治35年5月	添田和義他8名、町田村大字潮田小野新田の埋立免許取得
1906	明治39年9月	横浜製糖（株）創業
"	" 11月	村野常右衛門他12名、大島及び渡田地先の埋立免許申請
1908	明治41年9月	東京電気（株）（東芝）創業
1909	明治42年7月	日米蓄音器（株）（日本コロムビア）創業
"	" 12月	村野常右衛門他12名、大島及び渡田地先の埋立免許取得
1910	明治43年2月	岡田治衛武他29名、京浜運河開さく申請
"	" 8月	岡田治衛武他29名、大師河原字末広島地先の埋立申請
1911	明治44年7月	浅野総一郎、大師河原村字池上新田地先の埋立申請
"	" 8月	岡田治衛武他29名に京浜運河開さく許可
1912	明治45年3月	鶴見埋立組合結成
"	" 6月	日本鋼管（株）創業
"	" 7月	川崎町々会、会員協議会を開催、工場誘致を川崎町の町是とすることを決定、工場設置期成同盟結成
"	大正元年9月	浅野総一郎、池上新田及び塩浜地先の埋立申請
1913	大正2年9月	浅野総一郎他19名、浅野埋立の根元をなす、大島、渡田、町田村及び田島地先の埋立申請
"	" 11月	岡田治衛武他26名、池上新田及び塩浜耕地の埋立申請
1914	大正3年3月	鶴見埋築会社創設
1915	大正4年1月	富士瓦斯紡績（株）川崎工場創業
"	" 7月	浅野埋立許可
1917	大正6年6月	浅野セメント（株）川崎工場創業
"	" 9月	京浜運河（株）設立
1920	大正9年1月	鶴見埋築会社を東京湾埋立（株）と改称
"	" 9月	日本鑄造（株）創業
1921	大正10年4月	横浜港第二期修築工事着工
1922	大正11年10月	日本港湾協会設立
1923	大正12年9月	関東大震災
"	" 9月	富士電機（株）川崎工場創業
1924	大正13年5月	港湾調査会、関東大震災後の東京港修築計画と関連し京浜運河開さく計画可決
"	" 7月	川崎町、御幸村及び大師町を合併し川崎市誕生

西 暦	年 号	記 事
1925	大正14年 2月	横浜港の第三期修築工事着工
"	" 4月	日清製粉(株)川崎工場創業
"	" 11月	明治製菓(株)川崎工場創業
1926	大正15年10月	京浜運河(株)と東京湾埋立(株)合併、社長に浅野総一郎就任
"	昭和元年12月	川崎河港(鈴木町)設置
"	" 12月	東京電力(株)鶴見火力発電所創業
1927	昭和2年 4月	橘樹郡田島町、川崎市に編入
"	" 10月	臨時港湾調査会、京浜運河開さく修築計画に関する件を審議可決
1928	昭和3年 6月	浅野埋立竣工
1929	昭和4年 8月	東京湾埋立(株)池上新田字入江崎地先埋立免許取得
"	" 11月	東洋埠頭(株)、建設開始
1930	昭和5年 8月	昭和肥料(株)(昭和電工)川崎工場創業
"	" 8月	国鉄川崎発電所創業
1931	昭和6年 3月	日本電力(株)東京発電所(東電潮田火力)創業
"	" 11月	早山石油(株)川崎製油所(昭和石油)創業
"	" 12月	三菱石油(株)川崎製油所創業
1933	昭和8年 4月	東京湾埋立(株)、大師漁業組合及び海苔採取業者組合と補償協定締結
"	" 8月	土木会議官制設置
"	" 8月	中原町、川崎市に編入
"	" 11月	日本冶金(株)創業
1935	昭和10年 1月	土木会議、指定港湾の改良助成に関する方針議決
"	" 5月	化工機製作所(三菱化工機)創業
"	" 6月	富士通信機製造(株)創業
1936	昭和11年 5月	京浜臨海工業地帯造成事業(京浜運河開さく)の東京側、府営で施工に決定
1937	昭和12年 1月	神奈川県営(神奈川県地先)の京浜運河臨海工業地帯造成事業(京浜運河開さく)、10ヵ年継続事業として申請
"	" 4月	高津町及び日吉村の一部、川崎市に編入
"	" 4月	神奈川県知事半井清、大師漁業組合長松本喜久蔵と漁業補償協定締結
"	" 5月	県営埋立、免許
"	" 6月	橘村、川崎市に編入
1938	昭和13年 3月	県営埋立工事着工
"	" 8月	特殊製鋼(株)川崎製造所創業
"	" 10月	稲田、向丘、宮前及び生田村が川崎市に編入
1939	昭和14年 4月	柿生、岡上村が川崎市に編入
1940	昭和15年 6月	臨海工業地帯造成方針、土木会議で決定
1941	昭和16年11月	県営埋立工事の第一工区、第二工区竣工
1942	昭和17年12月	扇島残さい埋立計画、10ヵ年計画で施工することに決定
"	" 12月	日立造船(株)神奈川工場創業
1943	昭和18年 1月	都市計画大師臨海地帯土地区画整理事業実施
"	" 12月	第三区(現千鳥町)、横須賀海軍施設部に売却
1944	昭和19年 4月	扇島残さい埋立認可
"	" 12月	神奈川県会、県営埋立事業の継続年限を3年延長することを決定
1945	昭和20年 8月	第二次世界大戦終結
"	" 12月	京浜工業地帯造成計画及び扇島残さい埋立計画中止
1946	昭和21年12月	第三区(現千鳥町)に公共用港湾施設設置の承認願を神奈川軍政部に提出
1947	昭和22年 1月	千鳥町の土地、建物の払下申請
"	" 4月	千鳥町、輸入燐鉱石の陸揚場として指定
"	" 8月	千鳥町の国有地、一時使用許可

西 暦	年 号	記 事
1947	昭和22年 8月	運輸省、燐鉱石陸揚場整備のため横浜港整備費から360万円を分割、川崎市事業として実施することを決定
〃	〃 11月	川崎市港湾設備使用条例等公布施行
〃	〃 11月	川崎港湾諸施設の運営管理及び施設築造工事施工のため、復興部土木課管轄の川崎市臨時港湾事務所設置
1949	昭和24年 9月	行政管理庁及び地方自治庁、港湾管理に関する試案を提示
1950	昭和25年 2月	千鳥町の国有地払下げ、市会で承認
〃	〃 5月	港湾法制定
〃	〃 12月	港湾管理問題について岩本衆議院副議長、調停試案提示
1951	昭和26年 1月	全員協議会に管理案を説明、市が港湾管理者となることとの了解を得る
〃	〃 3月	港湾区域の認可申請
〃	〃 6月	港湾区域認可され、川崎市が港湾管理者となる
〃	〃 7月	土木部港湾課、港湾部の昇格、千鳥町に川崎港港務所設置
〃	〃 8月	(財)川崎海員会館開館
〃	〃 9月	特定重要港湾に指定
〃	〃 12月	川崎市水道局、「運搬給水」業務開始
1952	昭和27年 9月	京浜工業地帯造成事業促進協議会発足
1954	昭和29年 1月	市営曳船「塩浜丸」建造
〃	〃 12月	千鳥町A地区の払下申請
1955	昭和30年 5月	千鳥町B地区に公共物揚場建設に当り管理委託申請
〃	〃 9月	神奈川県営工業地帯土地造成計画、川崎臨海工業地帯造成計画として、神奈川県企業庁で計画実施することに決定
1956	昭和31年 4月	港湾審議会第2回計画部会、川崎港将来計画を審議、承認
〃	〃 9月	千鳥町の国有地払下げを受ける
1957	昭和32年 1月	漁業補償のあつ旋協議会、川崎漁業共同組合に協定額提示
〃	〃 3月	大田区漁業協同組合と漁業補償協定締結
〃	〃 4月	多摩川漁業組合と漁業補償協定締結
〃	〃 6月	千鳥町の国有地、市有地と交換
〃	〃 11月	神奈川県企業庁、川崎市及び東亜港湾工業(株)、川崎漁業協同組合と漁業補償協定締結
〃	〃 11月	日本石油化学(株)他11社と千鳥町土地売買契約締結
1958	昭和33年 6月	市営千鳥町地先埋立申請許可
〃	〃 10月	県営埋立の川崎臨港工業地帯造成事業第1工区(大師河原の一部)竣功
1959	昭和34年 3月	特定港湾施設工事特別会計が設けられ石油鉄鋼港湾の対象となった。
〃	〃 6月	県営埋立の川崎臨海工業地帯造成事業第2工区(末広町)竣功
〃	〃 7月	神奈川県、東亜港湾工業(株)に公有水面埋立権の一部譲渡
〃	〃 8月	港湾部から港湾局に組織変更
〃	〃 12月	県営埋立の川崎臨海工業地帯造成事業第3工区(浮島町の一部)竣功
1960	昭和35年 4月	市営埋立の千鳥町地先第1工区竣功
〃	〃 8月	市、民間合同出資により川崎臨港倉庫(株)設立 日石化学(株)を中心に夜光町、千鳥町及び扇町に石油化学コンビナートを形成
〃	〃 12月	市営埋立の千鳥町地先第2工区竣功
1961	昭和36年 3月	港湾整備緊急措置法制定
〃	〃 4月	県営扇島埋立事業第1工区竣功
〃	〃 7月	東京電力(株)川崎火力発電所創業
1962	昭和37年 2月	第1次港湾整備5ヵ年計画決定
〃	〃 3月	港湾共同事務所完成
〃	〃 4月	県営扇島埋立事業第2工区竣功

西 暦	年 号	記 事
1962	昭和37年 7月	法務省入国管理局横浜入国管理事務所川崎港出張所、千鳥町に設置
〃	〃 7月	川崎臨港消防署千鳥町出張所設置
〃	〃 8月	県営川崎臨海工業地帯造成事業の第4工区の1（浮島町の一部）竣功
〃	〃 11月	京浜運河で第一宗像丸（出光興産）とサラルド・プロビグ号（ノルウェーのタンカー）が衝突炎上、死者39名重軽傷者12名の被害者
1963	昭和38年 3月	県営川崎臨海工業地帯造成事業の第4工区の2（浮島町の一部）竣功
〃	〃 4月	川崎航路開設
〃	〃 6月	神奈川臨海鉄道（株）創業
〃	〃 7月	千鳥町4号係船岸竣功
〃	〃 10月	県営川崎臨海工業地帯造成事業完成に伴う竣功式
〃	〃 12月	市営千鳥町地先掘込埋立許可
1964	昭和39年 2月	県営川崎臨海工業地帯造成事業竣功
〃	〃 3月	神奈川臨海鉄道塩浜～水江町、塩浜～千鳥町及び塩浜～浮島町間開通
〃	〃 3月	塩浜操車場業務開始
〃	〃 3月	横浜税関川崎支署庁舎、千鳥町に完成
〃	〃 6月	市営千鳥町地先掘込埋立竣功
〃	〃 6月	横浜海上保安部川崎信号所、川崎海上保安署に昇格、千鳥町に設置
〃	〃 9月	国際海上V. H. F. 海岸局の免許、関東電波管理局より取得
〃	〃 12月	（社）川崎清港会設立
〃	〃 12月	東亜燃料工業（株）浮島シーバース完成
1965	昭和40年 4月	日本カーフェリー（株）、川崎～木更津間にフェリー就航
〃	〃 6月	港湾労働法制定
〃	〃 8月	第2次港湾整備5ヵ年計画決定
〃	〃 9月	川崎港の臨港地区、建設省指定
〃	〃 10月	「港湾管理者の財政基盤の強化及び港湾施設の効率的使用の確保のため緊急に実施すべき方策」について港湾審議会答申
1966	昭和41年 2月	多摩川河口に小型油槽船係留棧橋完成
1967	昭和42年 9月	雇用促進事業団、川崎港湾労働者福祉センターを桜本に完成
〃	〃 9月	港湾審議会第30回計画部会、扇島東埠頭に係る改訂計画を審議、承認
〃	〃 10月	川崎パイロットビル、千鳥町に完成
1968	昭和43年 3月	川崎港湾合同庁舎、千鳥町に完成
〃	〃 3月	入港料制度の実施について六大港湾協議会、船主団体と協議したが、不調
〃	〃 9月	運輸省・神奈川県・横浜市・川崎市及び扇交会、扇島沖埋立に伴う漁業補償の窓口として、京浜港中央地区漁業対策実行委員会設立
〃	〃 11月	三菱石油（株）・昭和石油（株）共有の京浜川崎シーバース、扇島沖に完成
1969	昭和44年 3月	日本鋼管（株）・扇島埋立計画について知事及び横浜・川崎両市長に要望書提出
〃	〃 3月	第3次港湾整備5ヵ年計画決定
〃	〃 7月	神奈川県知事、横浜・川崎両市長、日本鋼管（株）の扇島計画の取扱いについて第1回首長会談開催
〃	〃 7月	京浜港中央地区漁業対策実行委員会に日本鋼管（株）加入
〃	〃 7月	神奈川県、横浜・川崎両市の関係者、日本鋼管（株）の扇島計画を協議するための扇島埋立対策協議会（後の扇島問題連絡協議会）を結成、会議開催
〃	〃 7月	横浜植物防疫所川崎出張所、千鳥町に設置
〃	〃 8月	川崎港廃油処理場完成、業務開始
〃	〃 10月	横浜検疫所川崎出張所、千鳥町に設置
〃	〃 11月	千鳥運河内に増設中の小型油槽船係留棧橋完成
〃	〃 11月	「船舶の油による海水の汚濁の防止に関する法律」に基づき、運輸省、川崎港を我国初の廃油処理施設整備港湾に指定

西 暦	年 号	記 事
1970	昭和45年 5月	運搬給水業務、水道局から港湾局に移管
"	" 7月	夜光町に建設中の小型油槽係留栈橋完成
"	" 8月	東亜燃料工業（株）扇島シーバース完成
"	" 11月	日本鋼管（株）京浜製作所主要部分の扇島移転に伴う公害防止対策について、日本鋼管（株）、扇島問題連絡協議会と公害防止協定締結
"	" 12月	港湾審議会第44回計画部会、日本鋼管の扇島移転計画等に関する改訂計画を審議、承認
1971	昭和46年 2月	（財）川崎港湾福利厚生協会、千鳥センター開設
"	" 3月	日本カーフェリー（株）川崎～宮崎間にフェリー就航
"	" 7月	日本鋼管（株）、川崎市に対し、京浜製作所の移転跡地のうち、大島工場、昭和工場の一部241,100㎡の有償提供を了承
"	" 9月	川崎、子安浜及び西神子安浜漁業協同組合と漁業補償協定締結
"	" 10月	日本鋼管（株）、専用海底トンネル工事着工
"	" 10月	運輸省第二港湾建設局、川崎港海底トンネル第1回設計会議開催
"	" 10月	生麦漁業協同組合と補償協定締結
"	" 10月	日本鋼管（株）による扇島埋立計画認可
"	" 12月	日本鋼管（株）、扇島埋立工事の起工式
1972	昭和47年 3月	第4次港湾整備5ヵ年計画決定
"	" 4月	海面清掃船（ネットコンベア式）「清港丸」完成
"	" 5月	東扇島埋立計画承認
"	" 7月	第1回川崎港海底トンネル技術委員会開催
"	" 9月	川崎市公害防止条例、公布施行
"	" 10月	日産自動車（株）他7社と東扇島埋立地売買契約締結
"	" 11月	東扇島埠頭埋立工事起工式
1973	昭和48年 2月	第2回川崎港海底トンネル技術委員会開催
"	" 3月	新システムによる航路管制、全国で初めて川崎港で実施
"	" 4月	川崎漁業協同組合員の転業対策の一環とし、川崎漁港埋立地にゴルフ練習場オープン
"	" 11月	第3回川崎港海底トンネル技術委員会開催
1974	昭和49年 1月	港湾区域の変更（拡張）認可
"	" 2月	巡視艇「つばめ」進水
"	" 4月	川崎港港湾審議会条例制定（9月19日審議会発足）
"	" 6月	東扇島埋立第1工区竣工
"	" 6月	第1回川崎みなと祭、商工会議所と共催で開催
"	" 11月	深堀浚渫船「出島」浚渫作業開始
"	" 12月	日本鋼管（株）、扇島大橋の開通式
"	" 12月	日本鋼管（株）海底トンネル完成
1975	昭和50年 3月	浮島地先廃棄物埋立計画認可
"	" 4月	東扇島埋立第2工区竣工
"	" 5月	浮島地先廃棄物埋立外周護岸工事着工
"	" 8月	日本鋼管（株）扇島埋立工事川崎市域分竣工
"	" 8月	東京電力（株）と東扇島L. N. G. 基地用地の売買契約締結
1976	昭和51年 3月	東扇島で、日本航空（株）H S S T実験施設の起工式
"	" 4月	市営曳船「塩浜丸」廃船
"	" 7月	日本鋼管（株）扇島原料岸壁に初入港船を迎え始動式
"	" 8月	入港料の徴収について六大港湾管理者、船主団体と合意
"	" 10月	第5次港湾整備5ヵ年計画決定
"	" 11月	日本鋼管（株）扇島第1高炉の火入れ式
"	" 12月	川崎市入港料条例制定
"	" 12月	浮島地先廃棄物埋立処分場中仕切護岸工事着工

西 暦	年 号	記 事
1977	昭和52年 4月	局内船舶の集中管理体制確立
〃	〃 6月	東京湾岸道路計画、川崎市都市計画審議会承認
〃	〃 8月	川崎港海底トンネル沈埋函第1号函、千鳥町側の沈設
〃	〃 8月	老朽化した千鳥町物揚場（-4.5m）改良工事着工
〃	〃 8月	東京湾岸道路、都市計画決定
〃	〃 10月	浮島地先廃棄物埋立処分場中仕切護岸工事竣工
1978	昭和53年 1月	（社）川崎清港会、事務所を千鳥町に移転
〃	〃 6月	浮島地先廃棄物埋立処分場に清掃局浮島埋立事業所開設、受入れ開始
〃	〃 11月	川崎港海底トンネル最後の沈埋函（第8号函）、東扇島側に沈設
1979	昭和54年 1月	川崎港海底トンネル貫通式
〃	〃 2月	東亜燃料工業（株）浮島シーバース海底配管移設工事着工
〃	〃 3月	川崎航路白灯台傾斜修正工事完了
〃	〃 5月	千鳥町7号岸壁にRORO船「スコーグラン号」（31,000G/T）初入港
〃	〃 5月	東扇島埋立第3工区の1、第6工区の1竣工
〃	〃 6月	千鳥地区防災協議会防災センター完成
〃	〃 7月	日本鋼管（株）扇島第2高炉の火入れ式
〃	〃 10月	台風20号襲来、満潮時と重なり工事中の浮島地先廃棄物埋立セル護岸の中詰等一部被災
〃	〃 10月	川崎港海底トンネル開通式
〃	〃 11月	東扇島1号岸壁供用開始、初入港船RORO船「海龍」（4,100G/T）入港
1980	昭和55年 1月	浮島地先廃棄物埋立処分場水処理仕切工事着工
〃	〃 3月	港湾審議会第89回計画部会、危険物取扱施設（専用）の港湾計画を審議、承認
〃	〃 5月	川崎港海底トンネル工事、土木学会及び日本港湾協会から技術賞受賞
〃	〃 6月	東京電力（株）東扇島L.N.G.基地工事着工
〃	〃 10月	港湾局東扇島管理事務所開設
〃	〃 11月	東亜燃料工業（株）浮島シーバース配管移設工事竣工
1981	昭和56年 3月	第6次港湾整備5ヵ年計画決定
〃	〃 4月	浮島つり園開園式
〃	〃 4月	東扇島倉庫用地第1次分譲、物流企業15社と売買契約締結
〃	〃 5月	東扇島埋立第3工区の2、第6工区の2竣工
〃	〃 9月	巡視艇「あおぞら」起工式
〃	〃 11月	川崎港開港30周年を記念し、千鳥町で練習帆船「海王丸」の見学会開催
〃	〃 11月	東扇島2号岸壁供用開始
1982	昭和57年 3月	巡視艇「あおぞら」完成
〃	〃 4月	浮島地先廃棄物埋立処分場に港湾局浮島建設事務所開設、公共残土の受入れ開始
〃	〃 4月	東扇島21号岸壁供用開始
〃	〃 5月	浮島地先廃棄物埋立処分場内に水処理仕切完成
〃	〃 6月	東扇島3号岸壁供用開始
〃	〃 12月	千鳥町物揚場改良工事竣工
1983	昭和58年 2月	東扇島22号岸壁供用開始
〃	〃 3月	浮島地先廃棄物埋立処分場外周護岸工事（開口部を除く）竣工
〃	〃 4月	東扇島埋立第3工区の3、第6工区の3竣工
〃	〃 4月	東京電力（株）と鶴見、潮田火力発電所のリプレイス用地として東扇島埋立地売買契約締結
〃	〃 7月	東扇島4号岸壁供用開始
〃	〃 7月	ちどり公園一部開園
〃	〃 8月	港湾審議会第103回計画部会、東扇島コンテナバース等の港湾計画を審議承認
〃	〃 8月	東扇島倉庫用地第2次分譲、11社と売買契約締結

西 暦	年 号	記 事
1984	昭和59年 1月	東京電力(株) L. N. G. 棧橋に「テナガサツ号」(68, 085G/T) 初入港
〃	〃 4月	東扇島24号岸壁供用開始
〃	〃 5月	東扇島5号岸壁供用開始
〃	〃 6月	交通局、東扇島循環バス路線開設
〃	〃 7月	東扇島25号岸壁供用開始
〃	〃 7月	東京電力(株) 東扇島L. N. G. 基地完成
〃	〃 9月	東扇島をメイン会場として、第5回6都県市合同防災訓練開催
〃	〃 11月	東扇島23号岸壁供用開始
1985	昭和60年 2月	海面清掃船「つばき」(デスフローター式) 完成
〃	〃 4月	川崎漁業協同組合、解散記念碑建立
〃	〃 12月	東扇島倉庫用地第3次分譲、14社と売買契約締結
1986	昭和61年 5月	東扇島26号、27号岸壁供用開始
〃	〃 7月	東扇島6号岸壁供用開始
〃	〃 10月	大川、白石町地区の都市再開発用地、取得契約締結
1987	昭和62年 3月	東扇島北公園完成
〃	〃 3月	千鳥町5号係留棧橋改修工事竣工
〃	〃 6月	川崎港振興協会設立
〃	〃 9月	千鳥町6号係留棧橋改修工事竣工
〃	〃 9月	東京電力(株) 東扇島火力発電所完成
〃	〃 10月	大川、白石町地区の都市再開発用地、31社と売買契約締結
〃	〃 11月	三井埠頭(株) 掘込埋立工事竣工、南棧橋供用開始
1988	昭和63年 3月	浮島地先埋立第1工区竣工
〃	〃 3月	船客待合所(建替) 竣工
〃	〃 3月	千鳥町3号係留棧橋改修工事竣工
〃	〃 4月	東扇島埋立第4工区の1、第5工区の1、第6工区の4の1竣工
〃	〃 5月	東扇島28号岸壁供用開始
〃	〃 6月	東扇島倉庫用地第4次分譲、15社と売買契約締結
〃	〃 8月	近海郵船(株) 川崎～苫小牧内航定期航路開設
〃	〃 10月	大川、白石町地区の都市再開発用地、14社と売買契約締結
1989	平成元年 3月	東扇島29号岸壁供用開始
〃	〃 3月	東扇島埋立第6工区の4の2竣工
〃	〃 3月	千鳥町7号係留棧橋改修工事竣工
〃	〃 3月	千鳥町4号係船岸壁改修工事竣工
〃	〃 11月	東扇島30号岸壁及びA、B、C、D岸壁供用開始
〃	〃 12月	東扇島7号岸壁供用開始
1990	平成2年 3月	東扇島埋め立て第4工区の2、第5工区の2、第6工区の4の3竣工
〃	〃 3月	東扇島中公園竣工
〃	〃 3月	東扇島6番地1地先埋立竣工
〃	〃 3月	浮島地先埋立第2工区、第3工区竣工
〃	〃 11月	浮島地先埋立区域分割許可
1991	平成3年 3月	浮島地先埋立第4工区、第5工区の2、第6工区の1竣工
〃	〃 3月	港湾審議会第135回計画部会、浮島2期廃棄物処分場に関する計画及び船舶の大型化に対応した東扇島コンテナバースの計画等の港湾計画を審議、承認
〃	〃 6月	川崎市港湾振興会館、市民から愛称募集し「川崎マリエン」に決定
〃	〃 9月	浮島町地先埋立用途変更、期間伸長、設計変更及び区域分割許可
〃	〃 10月	川崎港開港40周年記念事業、東扇島で帆船「海王丸」見学会等のイベント実施
〃	〃 10月	浮島町地先埋立第5工区の1の1、第5工区の5の1、第6工区の2の1竣工
〃	〃 12月	川崎港振興協会、関東運輸局から社団法人認可

西 暦	年 号	記 事
1992	平成4年3月	川崎市港湾振興会館開館
〃	〃 3月	浮島町地先埋立第5工区の5の2竣功
〃	〃 3月	川崎市港湾振興会館条例制定（平成4年3月26日公布施行）
〃	〃 5月	ベトナム・ダナン市代表団が来川し、友好港湾都市の提携仮調印
〃	〃 9月	浮島町地先埋立第5工区の5の3、第6工区の2の2竣功
〃	〃 12月	ベトナム・ダナン市にフォークリフト、自転車寄贈
〃	〃 12月	川崎都市計画臨港地区の分区指定
1993	平成5年2月	帆船「海王丸」が寄港し、一般公開
〃	〃 4月	東扇島8号岸壁供用開始
1994	平成6年1月	「川崎港・ダナン港との友好港提携」をベトナム・ダナン市において本調印
〃	〃 1月	かわさき港コンテナターミナル株式会社設立に向け発起人会設立
〃	〃 3月	輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法に基づく「川崎市地域輸入促進計画」が通商産業省、運輸省、農林水産省、自治省の各大臣承認
〃	〃 3月	浮島町地先埋立第6工区の2の3竣功
〃	〃 5月	「かわさき港コンテナターミナル株式会社」を設立
〃	〃 12月	高速湾岸線（首都高速道路）開通（東京・羽田ー川崎・東扇島ー横浜・大黒）
〃	〃 12月	浮島2期地区埋立免許取得
1995	平成7年2月	東扇島保管施設等用地分譲 10社と売買契約締結
〃	〃 3月	浮島2期廃棄物埋立護岸の建設に着手
〃	〃 3月	浮島町地先埋立第5工区の1の2、第5工区の3、第5工区の4、第5工区の5の4竣功
〃	〃 3月	「かわさきファズ株式会社」を設立
〃	〃 5月	東扇島福利厚生センター開設
〃	〃 12月	浮島町地先埋立第5工区の1の3竣功
1996	平成8年3月	浮島町地先埋立第5工区の5の5・第6工区の6の2竣功
〃	〃 3月	川崎コンテナ1号岸壁及びコンテナターミナル完成・内覧会・祝賀会開催
〃	〃 4月	川崎コンテナ1号岸壁供用開始
〃	〃 4月	香港に「市港湾局海外連絡事務所」を開設
〃	〃 5月	外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・台湾・香港
〃	〃 7月	外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・韓国
〃	〃 9月	東燃（株） 浮島シーバース移設工事完成
1997	平成9年3月	「東扇島地区耐震バース（-12m・-7.5m）完成記念式典」を運輸省第二港湾建設局と川崎市との共催で開催
〃	〃 4月	東扇島31号岸壁供用開始
〃	〃 4月	マリンエキスプレス（株）川崎～木更津航路廃止
〃	〃 8月	川崎港セミナー初開催
〃	〃 10月	東扇島9号岸壁共用開始
〃	〃 11月	ベトナム・ダナン港に技術協力調査
〃	〃 12月	東京湾横断道路（アクアライン）開通
1998	平成10年4月	「かわさきファズ物流センター」事業開始
〃	〃 4月	外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・インドネシア
〃	〃 7月	姉妹都市ボルチモア市との交流事業 帆船「プライドオブボルチモアII世号」寄港
〃	〃 11月	東扇島防波堤完成
〃	〃 12月	外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・東地中海
〃	〃 12月	豪華外航客船「おりえんとびいなす」初入港、クリスマスクルーズ・船内見学会実施

西 暦	年 号	記 事
1999	平成11年 2月	「川崎港東扇島地区防波堤完成記念式典」を運輸省第二港湾建設局主催で開催
〃	〃 3月	東扇島緑道完成
〃	〃 10月	港湾E D I 開始
〃	〃 10月	友好港ベトナム・ダナン港に技術協力調査
〃	〃 11月	東京電力（株）と扇島の市有地の売買契約締結
〃	〃 12月	豪華外航客船「おりえんとびいなす」入港し、クリスマスクルーズ・船内見学会実施
2000	平成12年 1月	東扇島保管施設用地分譲 （株）宝組と売買契約締結
〃	〃 3月	港湾審議会第171回計画部会、東扇島・水江町間の臨港道路に関する計画及び東扇島掘込部埋立計画等の港湾計画を審議、承認
〃	〃 3月	海面清掃船「つばき」に油回収装置完成
〃	〃 4月	港湾法50年ぶり大改正
〃	〃 4月	浮島2期廃棄物処理場で公共残土等の受入開始
〃	〃 6月	外貿コンテナ定期航路開設 日本・東南アジア航路 船社「WANHAIラインズ」
〃	〃 7月	豪華客船「飛鳥」が東扇島に初入港、船内見学会等を実施
〃	〃 12月	豪華客船「ばしふいっくびいなす」初入港し、クリスマスクルーズ・船内見学会実施
2001	平成13年 1月	第51回全国統計大会において、川崎市が港湾統計で運輸大臣表彰を受賞
〃	〃 2月	外貿コンテナ定期航路開設 日本・青島航路
〃	〃 7月	客船「飛鳥」入港、ワンナイトクルーズ・船内見学会実施
〃	〃 9月	市民参加による東扇島東公園づくりワークショップを開始
〃	〃 10月	東扇島サッカー場オープン
〃	〃 11月	川崎港開港50周年記念、独立行政法人「航海訓練所」訓練船『日本丸』見学会実施
〃	〃 11月	客船「おりえんとびいなす」入港、ワンナイトクルーズ・船内見学会実施
〃	〃 11月	客船「飛鳥」入港、チャータークルーズ・船内見学会実施
〃	〃 11月	川崎港開港50周年記念式典挙行政
2002	平成14年 7月	夏休み川崎港見学会（以後毎年開催）
〃	〃 7月	基幹的広域防災拠点に東扇島地区を指定
〃	〃 9月	東扇島コンテナ1号岸壁延長工事終了「告示」の一部改正（431mに延長）
2003	平成15年 4月	川崎港が総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定
〃	〃 5月	川崎市及び神奈川県が「国際臨空産業・物流特区」に認定
〃	〃 6月	かわさきファズ物流センター内に東京検疫所川崎検疫支所開設
〃	〃 10月	東扇島サッカー場閉鎖
〃	〃 10月	ベトナム・ダナン市代表団 第30回川崎みなと祭りに参加
〃	〃 11月	近海郵船物流（株）川崎～苫小牧航路廃止
2004	平成16年 1月	かわさき港コンテナターミナル（株）破産申立
〃	〃 3月	かわさき港コンテナターミナル（株）破産宣告
〃	〃 4月	東扇島西公園全面オープン
〃	〃 4月	川崎港海底トンネルの人道一般開放
〃	〃 7月	海上人命安全条約（S O L A S条約）改正による川崎港の保安対策を強化
〃	〃 9月	トランスファークレーンを市が取得
〃	〃 10月	港湾施設に泊地を追加
〃	〃 12月	かわさき港コンテナターミナル（株）破産手続き終了
2005	平成17年 1月	ミュージア川崎シンフォニーホールにて「うみべフォーラム」開催
〃	〃 1月	東扇島東緑地（基幹的広域防災拠点）着工式
〃	〃 3月	構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置（臨時開庁手数料の軽減による貿易の促進事業）実施
〃	〃 6月	構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置（税関の執務時間外における通関体制の整備による貿易の促進事業）実施

西 暦	年 号	記 事
2005	平成17年 6月	(株) マリンエクスプレス京浜航路廃止
〃	〃 10月	南極観測船「しらせ」が第32回川崎みなと祭りに初入港
〃	〃 10月	世界最大級の雄のホオジロザメが千鳥町に漂着・剥製化
〃	〃 11月	夜間入港制限の緩和措置実施
〃	〃 12月	京浜港コンテナ輸送効率化検討委員会により、川崎港コンテナターミナルを利用した実証実験実施
2006	平成18年 7月	川崎港ふ頭建設事務所が川崎マリエン内に移転
〃	〃 9月	川崎港廃油処理場が廃止
〃	〃 11月	「川崎港千鳥町再整備の基本的な考え方」策定
2007	平成19年 1月	「東扇島総合物流拠点地区形成計画」策定
〃	〃 3月	川崎港と千葉港間でコンテナ内航フィーダーが開始
〃	〃 4月	川崎港の臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例の改正
〃	〃 6月	東扇島総合物流拠点地区第一期(①・②・③区画)公募開始
〃	〃 8月	②・③区画の事業予定者決定 ②区画 POSCO-JYPC(株) ③区画 山九(株)
〃	〃 10月	ベトナムホーチミン市で川崎港セミナー開催
〃	〃 12月	かわさきファズ物流センター新棟(C棟)竣工
2008	平成20年 3月	東扇島総合物流拠点地区第一期①区画再公募事業予定者決定 ① C区画 (株)ヨコロジ ① D区画 (株)ニチレイロジグループ本社
〃	〃 3月	川崎港、横浜港、東京港の広域連携強化に係る基本合意書締結
〃	〃 4月	港湾施設についての延命化のための維持管理計画策定業務に着手
〃	〃 4月	東扇島東公園の開園により約50年ぶりに砂浜が復活
〃	〃 8月	東扇島総合物流拠点地区第一期②区画 POSCO-JYPC(株)川崎コイルセンター竣工
〃	〃 9月	京浜港利用促進セミナー開催(長野県松本市)
〃	〃 9月	京浜港経営協議会及び京浜港広域連携推進会議設置等に関する三首長合意
〃	〃 10月	東扇島で市内初のトライアスロン大会開催
〃	〃 10月	東扇島東公園の人工海浜でビーチバレーエキシビジョンマッチ開催
〃	〃 10月	第59回全国統計大会において、川崎市が港湾統計で国土交通大臣表彰を受賞
2009	平成21年 2月	京浜港セミナー開催(東京都千代田区)
〃	〃 4月	京浜三港間を複数寄港するコンテナ船の入港料の減免(一港化)及び徴収窓口一元化開始
〃	〃 6月	京浜三港と八戸港の連携に関する協定締結
〃	〃 8月	川崎市長杯ジャパンビーチバレーサテライト神奈川大会(女子)開催
〃	〃 8月	京浜三港と八戸港間に就航する内航フィーダー船に係る入港料の相互免除を実施
〃	〃 9月	千鳥町2号上屋取り壊しのため供用終了
〃	〃 9月	京浜港利用促進セミナー開催(群馬県太田市)
〃	〃 11月	シンガポール港で川崎港セミナー開催
〃	〃 12月	京浜港連携協議会設置
2010	平成22年 2月	千鳥町5号岸壁供用開始
〃	〃 2月	山九株式会社首都圏物流センター竣工
〃	〃 2月	京浜港セミナー開催(東京都千代田区)京浜港共同ビジョン発表
〃	〃 3月	千鳥町5号岸壁背後C-14荷捌き地供用開始
〃	〃 4月	東扇島東公園人工海浜で潮干狩りオープニングセレモニー
〃	〃 4月	多摩川係留棧橋廃止
〃	〃 8月	全日本ビーチバレー大学男女選手権大会開催(平成25年を除き、以後毎年開催)
〃	〃 8月	国際コンテナ戦略港湾に京浜港を選定
〃	〃 8月	千鳥町再整備計画の策定

西 暦	年 号	記 事
2010	平成22年 9月	京浜港利用促進セミナー開催（宮城県仙台市）
〃	〃 10月	J B V ツアー2010ビーチバレー川崎市長杯開催（以後毎年開催）
〃	〃 11月	川崎港海底トンネル液状化対策工事完了
〃	〃 12月	千鳥町2号岸壁改良工事着工
2011	平成23年 1月	京浜港セミナー開催（東京都千代田区）
〃	〃 2月	東扇島総合物流拠点地区第二期公募事業予定者決定 ④A区画 郵便事業（株） ④B及びC区画 （株）松岡 ⑤A区画 山手冷蔵（株） ⑤B区画 （株）マルハニチロ物流 ⑥区画 荒井商事（株）
〃	〃 2月	東扇島総合物流拠点地区第一期①D区画 （株）ニチレイ・ロジスティクス関東 東扇島物流センター竣工
〃	〃 3月	東日本大震災
〃	〃 4月	港湾法改正により、国が京浜港を国際戦略港湾に指定
〃	〃 7月	震災復興に向けた海上コンテナ輸送補助制度実施
〃	〃 8月	学識経験者による「川崎港海底トンネル維持管理計画策定検討委員会」の開催
〃	〃 9月	宮城県女川町へ職員の災害派遣を開始
〃	〃 9月	川崎マリエンレーニング室開設
〃	〃 9月	川崎マリエンが「JOC認定バレーボール競技強化センター」に認定
〃	〃 9月	京浜港連携協議会にて「京浜港の総合的な計画」を策定
〃	〃 10月	『川崎港のあゆみ（改訂版）』上梓
〃	〃 11月	京浜港の集い開催（川崎港、東京港視察）
〃	〃 11月	川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度実施
〃	〃 11月	神奈川倉庫協会と「災害時における緊急措置の支援に関する協定」を締結
2012	平成24年 1月	京浜港の集い開催（川崎港、横浜港視察）
〃	〃 4月	川崎マリエン「展望室 ジオラマ」リニューアル
〃	〃 5月	中国青島港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 6月	「国際コンテナ戦略港湾京浜港を活用した地域再生計画」が内閣総理大臣により認定
〃	〃 10月	中国上海港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 10月	京浜港の集い開催（川崎港、東京港視察）
2013	平成25年 1月	東扇島総合物流拠点地区第二期④B地区及び④C地区（株）松岡 東京湾岸物流センター竣工
〃	〃 3月	中国深セン港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 3月	日本埋立浚渫協会関東支部と「災害時の緊急対策業務に関する協定」を締結
〃	〃 4月	東扇島総合物流拠点地区第二期⑤A区画山手冷蔵（株） 川崎ロジスティックセンター竣工
〃	〃 4月	東扇島総合物流拠点地区第二期④A区画日本郵便（株） 川崎東郵便局竣工
〃	〃 5月	川崎臨港倉庫埠頭(株)と千鳥町再整備計画に係る土地交換契約締結
〃	〃 7月	東扇島総合物流拠点地区第一期①D区画（株）ロジスティクス・ネットワーク 東扇島物流センター竣工
〃	〃 11月	千鳥町において川崎臨港倉庫埠頭(株)の新倉庫・事務所工事着工
2014	平成26年 1月	川崎臨港倉庫埠頭（株）が特例港湾運営会社に指定
〃	〃 1月	東扇島総合物流拠点地区第二期⑤B区画（株）マルハニチロ物流 川崎第三物流センター竣工
〃	〃 3月	川崎港コンテナターミナルにコンテナクレーン3号機を設置
〃	〃 3月	J F E スチール(株)と「災害時における応急復旧資材の供給協力に関する協定」を締結
〃	〃 4月	川崎臨港倉庫埠頭（株）による川崎港コンテナターミナル管理運営開始
〃	〃 5月	ビーチバレーボールアジア競技大会日本代表決定戦開催

西 暦	年 号	記 事
2014	平成26年 9 月	中国大連港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 9 月	川崎港港湾計画の改訂について、第 50 回川崎港港湾審議会に諮問し、適当であるとの答申
〃	〃 10月	J A全農との土地売買契約により循環資源用地の取得（千鳥町 25-1）
〃	〃 11月	千鳥町において川崎臨港倉庫埠頭（株）の埠頭 1 号倉庫、ポートサイドカワサキ（事務所棟）竣工、本社を移転
〃	〃 11月	川崎港港湾計画の改訂について、第 58 回交通政策審議会港湾分科会において審議され、国土交通大臣から、変更を求めないとの通知
〃	〃 12月	臨港道路東扇島水江町線条例環境影響評価手続き完了
2015	平成27年 3 月	上海港・ハイフォン港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 3 月	臨港道路東扇島水江町線現地工事着手
〃	〃 4 月	水江町公園が経済労働局から移管
2016	平成28年 1 月	港湾隣接地域の指定及び変更
〃	〃 3 月	国が横浜川崎国際港湾株式会社を港湾運営会社に指定
〃	〃 3 月	横浜川崎国際港湾株式会社へ出資
〃	〃 3 月	緊急物資等輸送用浮棧橋（東扇島側）完成
〃	〃 4 月	横浜川崎国際港湾・川崎臨港倉庫埠頭共同事業体による川崎港コンテナターミナル管理運営開始
2017	平成29年 3 月	千鳥町共同事務所 A 棟ほか解体撤去完了
〃	〃 9 月	「みなとオアシス川崎」が新規登録
2018	平成30年 2 月	中国太倉港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 3 月	東扇島地区公有水面埋立免許の取得（東扇島堀込部）
〃	〃 3 月	川崎マリエンがビーチバレーボールの「ナショナルトレーニングセンター（N T C）競技別強化拠点」に指定
〃	〃 3 月	東海旅客鉄道株式会社と「東扇島堀込部土地造成事業に伴う護岸築造工事及び埋立管理等の施行に関する基本協定書」締結
〃	〃 4 月	タイレムチャバン港等との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 4 月	中国（華南）・台湾・東南アジア（ポートケラン等）との新規コンテナ定期航路の開設
〃	〃 5 月	J A全農たまご株式会社と千鳥町再整備計画に係る土地交換契約締結
〃	〃 7 月	東扇島堀込部公有水面埋立工事着手
2019	平成31年 1 月	川崎港コンテナターミナルトランスファークレーン（RMG）5・6 号機更新
〃	〃 3 月	千鳥町共同事務所 B 棟ほか解体撤去完了
〃	〃 3 月	友好港であるベトナムダナン港との定期航路開設

主要港との港勢比較表

港名称	船舶データ (千総トン)							海上出入貨			
	合計			外航船		内航船		合計			
	隻数	G/T	順位	隻数	G/T	隻数	G/T	合計	順位	輸移出	輸移入
名古屋港	33,404	237,614	2	8,008	197,813	25,396	39,800	196,593	1	88,855	107,738
千葉港	49,018	143,206	5	3,780	94,805	45,238	48,402	153,198	2	43,327	109,871
横浜港	34,324	296,656	1	9,709	254,483	24,615	42,173	113,958	3	47,537	66,421
苫小牧港	14,433	87,986	9	1,022	18,185	13,411	69,802	107,444	4	45,826	61,618
北九州港	54,659	99,665	7	4,170	56,125	50,489	43,540	101,762	5	39,912	61,851
神戸港*	32,957	189,183	3	6,750	144,025	26,207	45,159	95,486	6	41,751	53,735
東京港	24,374	183,112	4	5,504	137,428	18,870	45,685	91,543	7	29,040	62,503
水島港**	31,821	85,026	10	2,513	57,056	29,308	27,970	87,246	8	30,480	56,766
大阪港*	23,109	112,964	6	5,156	76,727	17,953	36,236	83,793	9	30,786	53,007
川崎港	21,422	95,818	8	2,654	71,876	18,768	23,941	81,088	10	22,249	58,839
堺泉北港	30,333	80,868	12	1,727	48,056	28,606	32,812	72,116	11	22,024	50,092
四日市港*	17,600	61,839	13	1,776	47,716	15,824	14,124	60,562	12	19,000	41,562
徳山下松港**	24,259	39,938	19	1,673	20,783	22,586	19,155	51,228	13	19,800	31,428
仙台塩釜港**	28,967	61,110	14	1,262	24,217	27,705	36,893	48,675	14	16,837	31,838
和歌山下津港**	11,654	40,358	18	855	25,761	10,799	14,597	35,311	15	12,800	22,511
博多港	29,109	83,754	11	4,133	64,657	24,976	19,097	34,260	16	12,276	21,984
姫路港**	27,844	27,311	20	679	17,226	27,165	10,085	33,322	17	6,241	27,081
新潟港*	11,046	40,964	17	878	15,383	10,168	25,581	32,297	18	8,365	23,932
室蘭港*	5,331	22,856	21	634	13,906	4,697	8,951	22,673	19	7,629	15,044
清水港	8,097	47,275	15	1,850	37,241	6,247	10,034	18,938	20	6,144	12,795
広島港**	48,560	45,758	16	1,373	27,633	47,187	18,126	15,086	21	8,140	6,946
伏木富山港**	3,423	9,775	23	762	7,460	2,661	2,315	6,667	22	1,327	5,341
下関港	34,733	13,166	22	1,309	9,262	33,424	3,905	5,490	23	2,628	2,862

※港名に*を伴うものは速報値、**を伴うものは国土交通省により港湾統計港別集計値として公表された数値を集計したものです。

※速報値等については、後日数値が変動する可能性があります。

※税関データは全国の税関の資料によるものです。

物 デ ー タ (千 ト ン)						税関データ			
外 貿 貨 物			内 貿 貨 物			貿易 (通関) 金額 単位 : 億円			
小計	輸出	輸入	小計	移出	移入	合計	順位	輸出	輸入
129,649	53,711	75,938	66,944	35,144	31,800	178,214	1	124,845	53,368
92,401	9,645	82,756	60,797	33,683	27,114	48,605	6	8,961	39,644
78,478	32,851	45,627	35,480	14,685	20,794	124,725	3	77,187	47,538
17,549	1,282	16,267	89,895	44,544	45,351	9,708	17	1,580	8,128
32,542	7,271	25,272	69,220	32,641	36,579	26,487	10	13,908	12,580
52,162	23,708	28,453	43,325	18,043	25,282	92,584	4	58,198	34,385
49,826	13,289	36,537	41,718	15,751	25,966	176,962	2	60,398	116,565
55,758	10,019	45,738	31,488	20,461	11,028	26,202	11	10,291	15,911
35,951	9,626	26,325	47,842	21,160	26,681	92,140	5	42,427	49,713
50,727	7,492	43,235	30,361	14,757	15,604	34,796	8	11,144	23,652
26,758	3,787	22,971	45,359	18,237	27,121	21,978	13	5,111	16,866
40,204	4,222	35,982	20,358	14,778	5,580	25,552	12	8,364	17,188
19,953	3,773	16,180	31,275	16,027	15,248	9,821	16	4,926	4,896
15,918	2,070	13,849	32,756	14,767	17,989	11,493	15	2,922	8,571
20,792	4,487	16,305	14,519	8,314	6,206	8,380	19	4,427	3,953
19,401	8,333	11,068	14,859	3,943	10,916	38,079	7	27,665	10,414
20,048	873	19,176	13,273	5,368	7,905	6,934	20	2,027	4,907
15,195	1,131	14,064	17,102	7,234	9,868	6,573	21	1,210	5,362
11,777	1,565	10,212	10,896	6,064	4,832	3,518	23	1,253	2,265
12,784	4,545	8,238	6,155	1,598	4,556	29,379	9	18,829	10,550
6,469	4,380	2,089	8,617	3,760	4,857	18,085	14	13,886	4,199
4,591	1,200	3,391	2,076	126	1,950	3,706	22	1,685	2,021
3,335	1,764	1,571	2,155	864	1,291	9,091	18	6,625	2,466